

日遊協共生の森・東松島

2日間102人が汗 3150本

日遊協は6月19、20の2日間、宮城県東松島市矢本地区(東松島市大曲字新堀向国有林)0.63ヘクタールで、「日遊協共生の森・東松島」と名付けてクロマツ3150本を

津波で被災した海岸防災林を再生させる

林野庁の『みどりのきずな』再生プロジェクトの一環で、日遊協としては2013年5月の仙台市若林区荒浜地区0.16ヘクタール(クロマツ770本、ヤマザクラ70本)、昨年5月の同

県名取市下

増田地区0.17ヘクタール(クロマツ777本)に続く第3弾の植林。今回は面積が広いため、初めて2日間にわたる作業となった。

参加者は谷口久徳副会長(東北支部長)、知念安光理事(社会貢献・環境対策委員会担当理事)、社会貢献・環境対策委員会メンバー14人、北海道支部ボランティア隊6人、東北支部同30人、東京都・関東支部同20人、九州支部同19人、植林指導の埼玉県緑化推進委員会と埼玉森林サポータークラブ6人、事務局5人の計102人。

「伊達正宗ゆかりの」

前日の18日に一部が現地入りし、下準備を行った。広々とした平地に材木で組んだ柵が立てられて植林場所を区分していた。当日の19日、一行はJR仙台駅に近い日遊協東北支部から貸切りバスなどに分乗して現地に集合した。

午前11時半に開会式。谷口副会長は「今回は100人を超える方たちに

「日遊協」で検索!

The screenshot shows the homepage of the NICHYUKYO (Japan Amusement Machine Association) website. A prominent banner at the top reads '遊技機アワード2015 発表' (Amusement Machine Award 2015 Announcement). Below the banner, there are several navigation buttons and a list of news items. The news items include dates and titles related to award ceremonies and association activities.

日遊協
ホームページ
更新情報

参加していただき、ありがとうございます。この辺りは昔、伊達正宗が拓いた場所です。皆様も伊達正宗になったつもりでがんばってください」とユーモアを交えて挨拶した。

「きつく踏み固めて」

この後、6班に分かれて植林がスタートした。まず、規則正しく測定された植林位置に長さ1mほどの目印の白竹を刺し、苗木を置く。スコップやシャベルで白竹のそばに30cm四方の穴を掘る。掘った土の一部を団子状に固めて穴の底に置き、その上に苗木の根を広げて置く。周りから土をかぶせて

苗木を軽く上下に揺すり、最後に足で踏んで空気を抜く。一連の手順の間、埼玉森林サポーターたちが、「きつく踏み固めてくださいね」などとコーチして回った。作業は、午後4時過ぎにいったん終了、宿泊先のホテルに引き上げた。20日は午前8時半に貸切りバス等でホテルを出発、9時に作業をスタートし、昼前に終了して解散した。一部はバスで一昨年と昨年の植林箇所(仙台市荒浜地区、名取市下増田地区)に向かい、下草取りなどの整備を行った。植えられたクロマツ、ヤマザクラはいずれも順調に育っていた。

東京都・関東支部総会

西村拓郎支部長を再選

「最大支部の責任を持つて」

日遊協東京都・関東支部は6月11日、東京・新宿のハイアトリージェンシーホテル東京で支部総会を開き、西村拓郎支部長以下役員全員の再任を決めた。

開会にあたり西村支部長は「今年支部として初めて8月5日に会員交流研修会を開きます。会員の皆さまに対する情報の提供を増やし、交流を深めて活動の強化に務めたい。現在、業界は行政の指導をいただきながらも、依存問題、顧客人口、遊技機性能など山積する課題に取り組んでいます。会員交流研修会などもきっかけにして意見交換の機会を強めて、さらに積極的な取り組みを進めたいと考えています。昨年立ち上げたセキュリティ対策部会も定員オーバーの盛況になるなど新規入会も13社を数え、支部は前進しています」

すので、さらに皆さまのご協力をいただきながら、日遊協最大の支部として責任を果たしていきたい」とあいさつした。



新たに支部長としての決意を語る西村拓郎支部長

庄司会長「会員のメリットを」

来賓として庄司孝輝会長があいさつし「日遊協の会員であることのメリットを追求したい。その日遊協が業界全体をリードしていくるように活動を強化したい」と強調した。

警視庁生活安全全部保安課の測上宏和理事官が「パチンコ産業のさらなる健全化」と題して講話を行い、業界の課題とし、射幸性、のめ



再選された西村拓郎支部長が、新たに指名された7副支部長とともにあいさつ



測上宏和理事官の講話を聴く総会参加者たち

り込み、不正改造などをあげ、徹底した改善措置をはかるよう求めた。

7副支部長も全員留任

議事に入り第1号議案として役員改選が行われた。今総会は全員の改選期に当たするため、総会前の理事会において西村拓郎支部

貯玉補償基金定時社員総会

庄司孝輝代表理事を再選

新理事に堀内文隆日遊協常務理事

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・庄司孝輝日遊協会長）は6月12日、東京・千代田区グラウンドアーク半蔵門で第9期定時社員総会を開いた。

第1号議案として第9期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の事業報告及び計算書類について審議した。平成27年3月末で前年比353店増の5982店の加盟となり、破綻1店舗、福島原発関連1店舗の補償実施したことなどが報告され、計算書類（貸借対照表、損益計算書等）についても監査報告を受けて第1号議案は承認された。第2号議案は「定款」の一部改正の件で、社員区分の明確化、社員負担金について審議され承認された。

長の再任を提起することを決め、総会で全員一致の賛成で承認された。西村支部長は規約にのっとり副支部長7人の留任を決め発表した。【副支部長】知念安光、後藤正人、日野文平、白石良二、岸野誠人、中村泰仁、吉川実

第3号議案は任期満了による理事及び監事選任の件で、現理事7人のうち6人が再任され、堀内文隆日遊協常務理事を新任した。監事2人は留任した。

引き続き第63回理事会が開かれ、5議案を審議した。第1号議案は代表理事選定の件で、庄司孝輝代表理事が再任された。第2号議案以下の社員総会議長の代行順序、理事会議長代行順序、貯玉補償適用申請審査委員会の審査委員選任、相談役の委嘱についてそれぞれ承認された。報告事項として「貯玉補償基金加盟状況」「資金運用状況及び継続」「インターネット上の基金加盟店告知」が説明された。

遊技産業健全化推進機構

新代表に五木田彬氏

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（伏見勝代表理事）は6月15日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで定時社員総会を開いた。第9期事業年度計算書類を承認可決、新年度事業計画及び予算等を了承した。

任期満了に伴う役員改選で、新代表理事に弁護士、五木田彬（ごきた・あきら）氏（写真）を選任した。五木田氏は早稲田大学法学部卒。

東京地検、大阪地検の各特捜部検事を歴任し、現在は弁護士事務所代表。67歳。



このほか、伏見勝専務理事はじめ理事9人、監事2人がいずれも重任した。伏見専務理事は河上和雄代表理事の死去（2月7日）後、暫定の代表理事に選任されていた。

4団体が総会、シーズンを終了

日本電動式遊技機工業協同組合

新理事長に佐野慎一氏「業界の活性化に全力」

日本電動式遊技機工業協同組合（日電協）は6月12日、東京・大手町のパレスホテル東京で通常総会を開き、平成26年度事業・決算報告、27年度事業計画・

収支予算案を承認した。任期満了に伴う役員改選で新理事長に、里見治氏（サミー）

（株）に代わり佐野慎一氏（山佐（株））を選任した。さらに副理事長に兼次民喜氏（株オリンピア）を再任、片田富穂（株パイオニア）、小林友也（株北電子）両氏を新任した。

佐野新理事長は「大変な重責を仰せつかり責任を感じる。現在の厳しい状況の中、メーカーも依存問題、射幸性の課題を十分に認識

しながら機械をつくっていかねばならない。産業の皆様と連携を取り、業界の活性化に全力で当たりたい」と抱負を語った。

全日本遊技事業協同組合連合会

4つの基本方針決める

全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）は6月23日、東京・高輪のTKPガーデンシティ品川で

第24回通常総会を開いた。平成26年度事業報告並びに収支決算を承認したあと、①パチンコ・パチスロファンの回復 ②のめり込み問題への対策 ③安定したホール経営の確立 ④積極的な社会貢献活動——を基本方針・施策とする27年度事業計画を承認した。最後に、基本方針・施策に沿った総会スロ―ガンと総会宣言を採択した。

阿部恭久理事長はあいさつで、日遊協通常総会（6月11日）の保安課長講話で指摘された遊技くじの問題等に触れ、「全日遊連としても他団体と連携し、業界全体で取り組んでいる」と述べた。

全国遊技機商業協同組合連合会

中村昌勇会長が続投

全国遊技機商業協同組合連合会

（全商協）は6月9日、ホテル日航東京で通常総会を開き、事業・決算報告、事業計画・収支予算を承認した。事業計画の中には、社会貢献事業のひとつとして、リカバリーサポート・ネットワークの電話相談窓口業務のサポートなどが入っている。任期満了に伴う役員改選で中村昌勇会長を再選した。

遊技機運送事業協同組合

決算、予算を承認

遊技機運送事業協同組合（栗原真理事長）は6月10日、東京荒川区のホテルラングウッドで第12回通常総会を開いた。

平成26年度決算関係書類を承認し、平成27年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課徴収方法について承認した。借入金残高の最高限度及び手数料の最高限度を決定し、加入手数料などを承認した。

総会後、懇親会を開き栗原理事長は「全国の運送組織と連携し、遊技機の運送の安全を更に強化したい」とあいさつした。伊東慎吾日遊協常務理事、田林均日工組専務理事が来賓として祝辞を述べ、中村昌勇全商協会長の乾杯の音頭で、和やかに懇談が始まった。



佐野慎一日電協理事長

中古機流通協議会

要綱の一部改正を検討 奥村遊機製の認定申請はX

第94回中古機流通協議会（委員長・伊坂重憲全日遊連副理事長。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商で構成）が6月1日、全日遊連会議室で開かれた。

4月の中古用と認定用の稼働実績が報告された。全商協の中古用確認証紙発給状況は稼働実績が5万3692件（前年対比93%）、9万4239台（同91%）。回胴遊商の中古用確認証紙発給状況は稼働実績が2万6468件（同100%）、4万8590台（同101%）だった。

全商協、回胴遊商から中古遊技機流通健全化要綱の部分改正案が出され、検討した。内容は、第3章「中古遊技機の点検確認」第12条（保証書の作成等）に「取扱主任者及び販売業者は、営業所から点検確認を依頼された中古遊技機について設置先の営業者が所有権を有していることを確認する……」という1項を追加する。改正の目的は、残債のある遊技機が中古移動され、設置先に所有権が移転し

ていないのに販社が保証書作成を要求されるケースなどが見られるためとしている。

奥村遊機(株)倒産に関係して、同社製遊技機が認定申請できないかを検討したが、倒産企業の遊技機についての認定申請は行わないことで一致した。部品の交換が必要な故障等が発生した場合、速やかに当該遊技機を撤去することとしている。同協議会は6月11日、その旨を構成6団体に通知した。

リサイクル推進委員会

1社加え39選定業者に倒産など選定要綱の見直しへ

第75回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、愛材協及び遊技機メーカー12社で構成）は6月2日、日工組会議室で開かれた。リサイクル選定業者へ申請をしていたキングレックス(株)（大阪市）について実査の結果「適」と判



中古遊技機流通健全化要綱の一部改正等が話し合われた中古機流通協議会

定し、選定業者に加えた。これで選定業者は39社となった。

選定業者の倒産で経営者が交代するなどのケースに対応するための、「リサイクル選定業者の継続性についての審査基準申合せ(案)」について、各団体が意見を出し合った。さらに長期間リサイクル実績がない「形だけの選定業者の取り扱いについても意見が出された。その結果、これら全体を含めて遊技機リサイクル業者選定要綱を見直すことを確認した。

ゴト対策4団体会議

強引な手口に注意 「月下雷鳴ZX」全国的被害

第57回ゴト対策に関する4団体会議が6月1日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協のほか全商協、回胴遊商、電遊協などのオブザーバーを含め50人が出席した。パチンコでは「海物語沖縄3X MC」や「エヴァンゲリオン」な

どへの玉がかりゴトなどが報告され、「沖縄3HME」に対しては日工組から磁石センサーによる対応策が説明された。

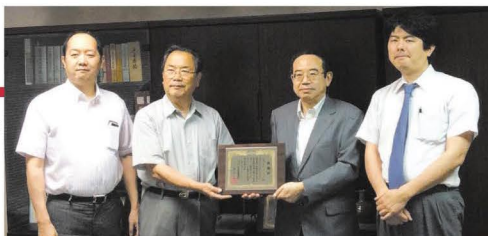
パチスロでは「鉄拳2ZX」「化物語ZX」などに対するゴト行為のほか「ジャグラーAPEXVI」に対するクレジット上げ等も説明された。特に「モンスターハンター月下雷鳴ZX」に関しては、筐体左側を強引に空けられ、サブハーネスに穴をあけるか、ちぎってコマンドを送信させている。全国的な広がりを見せており、失敗例も多いが、犯行時間が短くなっているのが警戒が一層必要とされた。

登録資格審査委員会

新規4業者が適合に

平成27年度第1回登録資格審査委員会（委員長・庄司孝輝日遊協会長。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、有識者で構成）は6月3日、日遊協本部会議室で開かれた。

新規申請4業者（全商協関係3、回胴遊商関係1）、更新申請92業者（全商協関係51、回胴遊商関係39、日工組1、日電協1）をそれぞれ適合とした。



左から日野文一専務取締役、日野社長松本専務理事、日野智隆常務取締役

株ヒノックスに感謝楯 「赤い羽根募金」に継続寄付

千葉県に17店舗、神奈川県に1店舗のパチンコ店を展開している株式会社ヒノックス(日野文平社長、本社・千葉県市原市)が5月27日、赤い羽根共同募金に毎月多額の寄付をしている功績により、社会福祉法人中央共同募金会から感謝楯を贈られた。同社は平成23年12月以降、毎年、グループ18店舗へお客様から寄せられた浄財(「端玉や現金」)を赤い羽根共同募金へ寄付しており、さる5月現在で合計752万3728円に達した。5月27日はヒノックス本社で松本秀夫千葉県共同募金会常務理事から日野社長に楯が渡された。

株玉屋に感謝状 街頭監視カメラ設置で

日遊協会員の株玉屋(本社・福岡市、渡邊博春社長)は5月29日、福岡県西警察署(森脇真一所長)から街頭監視カメラの設置に協力したことにより感謝状を贈られた。同社は、西区橋本地区で「街頭犯罪が増加しているので、街頭監視カメラを設置してほしい」という西警察署の要望

に直ちに応え、同社野方店前のバス通り上下2方向にカメラを設置した。

中部支部

「置引き」講演を聞く セキユリティー対策部会

日遊協中部支部は5月26日、名古屋市中・アイリス愛知で支部セキユリティー対策部会及び講演会を開催し、山口悟支部長、深谷友尋相談役、内ヶ島隆寛部会長ら25人が出席した。愛知県警察本部生活安全総務課の小澤一久課長補佐が「置引き犯罪等ホールにおける犯罪防止対策について」と題し講演し、置引きの状況、企業や地域の対策など具体的にレクチャーした。

山口支部長は「警察庁より、遊技機不正改造の絶無を強く求められています。ホールをはじめ各関係各位は、その周知徹底をよろしく願います」と話した。パチンコの玉掛かり、パチスロの電磁波ゴトなどの報告を受け、対策を協議した。

中部支部

「車内放置撲滅」へ 今年もキャンペーン

日遊協中部支部(山口悟支部長)は、遊技場ホール駐車場における子どもの事故対策の取り組み強化として、今年も「子どもの車内放置撲滅キャンペーン」を行う。日時は7月8日と8月7日

の両日で、場所は東海市養父町の三京会館横須賀店駐車場と緑区大高町京楽会館南大高店の2か所を予定している。

中部支部

代表者変更

日遊協中部支部役員らをはじめ、東海遊技業組合、緑区遊技場防犯組合、愛知県東海警察署、愛知県緑警察署、愛知県児童相談所が参加する。駐車場のパトロールによる安全点検、来店客らに対する広報・啓発、ポスター表示での呼びかけなどの活動が行われる。

会員・業界消息

代表者変更

- ▼株式会社ニューギン
代表者・新井悠司
- ▼株式会社ニューギン
代表担当・金海晃(新)
- ▼株式会社ニューギン販売
代表担当・金海晃
- ▼株式会社ミズホ
代表取締役・海老原信夫
- ▼株式会社
代表取締役・海老原信夫
- ▼株式会社
代表取締役社長・古川恵
- ▼5月27日
代表取締役社長・金谷綾子
- ▼6月
代表取締役・櫻井勝好
- ▼6月
代表取締役・櫻井勝好
- ▼株式会社永和商事

DATA SPOT

前年比、店舗減300超え、パチスロ増1万台割る

全日遊連は6月26日、店舗数、遊技機台数の2015年5月分を発表した。店舗数は前月4月(1万558店舗)と比較して78店舗減っている。1万480の店舗数は年間ペースだと昨年5月(1万825店)と比較して、この1年間で345店舗マイナスとなり、ついに1年で300店舗以上の減少となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万7702台(昨年5月273万577台)となり、一方パチスロ機はプラス8705台(昨年5月149万2880台)と前年を上回っているものの1万台を割ってしまった。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	10,638	13	33	135 (20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486
2月	10,613	9	39	129 (9)	2,690,969	1,504,884	156	4,196,009
3月	10,571	5	51	125 (12)	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209
4月	10,558	23	51	115 (11)	2,690,056	1,509,613	156	4,199,825
5月	10,480	3	78	104 (36)	2,672,875	1,501,585	156	4,174,616

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	275	0
東北	595	0
東京	617	-1
関東	1787	-1
中部	581	0
近畿	999	+2
中国	342	+2
四国	183	+4
九州	683	+2
全国計	6062	+8

(2015年5月31日現在)

代表取締役社長・呉正和

6月

株式会社ソデオ

代表取締役社長・首藤保志

6月5日

電話・FAX番号変更

株式会社環境経営戦略総研

TEL03・5312・6920

FAX03・5321・6921

4月1日

営業所開設

株式会社高尾金沢営業所

(旧社名、株式会社北陸高尾)

TEL076・292・4005

FAX076・292・4006

6月29日